

# 「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

## 【静岡県の作柄概況】

図 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（10月15日現在）

1 静岡県における令和2年産水稻の作付面積（子実用）は1万5,500haで、前年産に比べ200ha減少した。

また、主食用作付面積は1万5,400haとなった。

2 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数が少ない、1穂当たりもみ数が多いことから「やや多い」となった。

3 登熟は、全もみ数がやや多いことによる相反作用やトビイロウンカの発生等により「不良」が見込まれる。

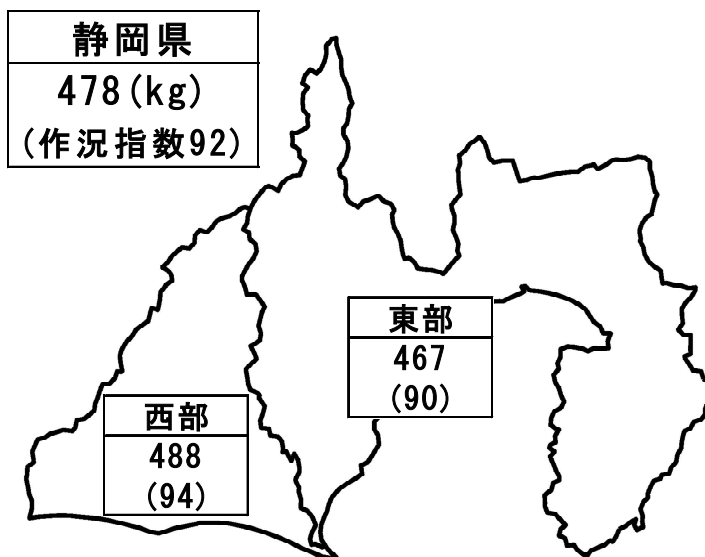
4 この結果、静岡県の10a当たり予想収量は478kgで、前年産に比べ39kgの減少が見込まれる。

また、作柄表示地帯別では、東部で467kg（前年産に比べ35kg減少）、西部で488kg（同43kg減少）が見込まれる。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された静岡県の作況指数は92が見込まれ、作柄表示地帯別では、西部で94、東部で90が見込まれる。

5 以上のことから、予想収穫量（子実用）は7万4,100tで、前年産に比べ7,100tの減少が見込まれる。

また、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は7万3,600tで、前年産に比べ7,100tの減少が見込まれる。



○ この資料は、「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料として作成したものです。  
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [https://www.maff.go.jp/kanto/to\\_jyo/](https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/) 】

